

平成27年度 事業方針（案）

事業スローガン

第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）、
成功に向けてみんなで頑張ろう！

いよいよ今年です！23WSJ、この大会の成功こそ、日本のスカウト運動活性化への
第一歩であり、各隊、各団の活動を一層充実させることがその源になります。
みんなで大会の成功に向けてそれぞれの持ち場立場で努力していきましょう。

《最重点施策》

日本連盟全組織を挙げての23WSJ開催準備・実行への取り組み

- ・参加するスカウトを訓練・激励し、隊・団の活動を活発に行う。
- ・参加スカウト・指導者、運営者およびホームステイ受け入れ家族など、みんなが「おもてなし」の心で外国スカウトに接して日本の良さを知らせる。
- ・23WSJ日本開催をあらゆる機会をとらえて周囲に広報する（スカウト関係者、団・地区・県連盟・一般社会）とともに各国、APR、地域委員会、WOSMとの連携を深め、プレゼンテーションや広報活動を展開し協力を要請する。
- ・23WSJ日本委員会の活動展開と政府・開催地・企業等への協賛・支援を継続し促進する。
- ・23WSJの大会運営組織（実行委員会）の活動を活発に展開し、関係者が協力してジャンボリーを成功させる。

注「みんなで23WSJを成功させよう！」協賛金の募金依頼口数は平成26年度内に達成する。

23WSJ成功に向けての取り組み（例示）

1. 各隊・各団の取り組み

- ・参加スカウトにジャンボリー参加経験者等から助言をするなど参加準備に取り組む。
- ・世界のスカウト運動の話しや過去のWSJの映像（日本連盟HPに掲載）を見せて、23WSJへの期待感を盛り上げる。
- ・外国からの参加スカウトたちに対しての「おもてなし」の具体的な例示を参加スカウトたちで話し合う。
- ・外国語会話バッジ取得を目指して、参加スカウトは英仏会話など外国語の勉強を継続する。
- ・ビーバーやカブにジョイン・イン・ジャンボリーのプログラム（日本連盟HPに掲載）を経験させる。

2. 各県連盟・各地区の取り組み

- ・参加スカウトにジャンボリーの楽しさを味わえるようサポートする。
- ・ウエルカム・ザ・ワールドのプログラムとして交流を促進する。
- ・ジョイン・イン・ジャンボリーのプログラムを展開する。

3. 日本連盟

- ・44年ぶり日本開催の23WSJの広報活動を展開する。
- ・大会運営組織活動の充実をめざし、23WSJへの参加者の満足度を高めジャンボリー成功とともに、日本のスカウト運動の活性化を目指す。

《一般事業の重点施策》

これまでの「スカウト運動の基本に基づいて、よりよいスカウトを育てよう！～まずは班制教育の徹底！～」は、重点施策として継続し、団・隊、都道府県連盟（地区）、日本連盟は連携しそれぞれの役割を果たし、以下の目標を達成する。

なお、最終年度となるので評価を行う。

中期事業としての目標

1. 社会から高い評価を得られる人材の育成

各隊、団の充実とは地域との連携によりスカウトの活躍の場を作り出すことと、結果としての社会からの評価を得ることである。社会からの評価は、スカウト・指導者が社会における模範となるとともに、この運動の使命を達成すること、またその達成に向けての努力によって得られるものであり、以下の目標を達成する。

- ・ボーイスカウト部門では、菊スカウトを目指して1級スカウトを育てる。
 - ・ベンチャースカウト部門では、富士スカウトを育てその質的向上を図る。
目標値として、都道府県連盟毎に年間目標数（全国 320 人）を定める。
 - ・カブスカウト部門では、うさぎ・しか・くまの各課程において、クリア章およびチャレンジ章5個以上を取得、「くまスカウト」は「月の輪」の課程を活用して全員ボーイ隊へ上進するよう指導する。
 - ・ピーパースカウト部門では、「りす」の課程を活用して全員カブ隊へ上進するよう指導する。
2. 会員拡充として青少年 100 人に 0.8 人のスカウトを確保するという中期事業目標において、都道府県連盟毎に定めた平成 27 年度（第 5 年度）目標を達成する。
3. スカウトおよび指導者の訓練施設の充実を図る。
4. 当年度予算・決算において収支相償の健全財政を堅持するための施策を推進する。

《平成 27 年度の重点施策》

1. 隊・団活動への支援策の更なる推進

スカウト教育の素晴らしさとその効果的な運営手法を正しく認識し、着実に実践することによって、スカウトおよび保護者に対して、スカウト活動の満足度を高め、中途退団を抑止する。そのため、隊・団指導者への個別支援の推進や実践に役立つツールの提供など前年度までに成案となった具体策の執行に努める。また、全国の各隊のプログラム調査を進め、本来のスカウティングの特徴をいかしたプログラム展開ができるよう支援を継続する。

特に、本年度は

- ・スカウトの信仰を奨励する施策を推進する。
- ・県連盟コミッショナー推進のアクションプランにより隊・団活動の支援を行う。
- ・礼儀（挨拶）と規律（基本動作とスマートネス）を基準に基づいて確実に指導する。
合わせて公共のマナーの大切さについて理解を喚起する。
- ・前年度公布された BVS・CS の上進時期の変更について、県連盟の方針を踏まえその趣旨に沿うよう確実に実施する。県連盟、地区は具体的に実施できるように支援する。
- ・指導者養成体制の充実を図るとともに、隊長の当該隊指導者上級訓練課程への参加を促進する。

2. 会員の確保

新規会員を確保するとともに中途退団者を減らすことに努める。年々新規会員の加入が減少してきている。新規会員募集一説明会や体験会等の開催回数増加、参加者の入団への導入、口コミなど募集活動の工夫、更にプログラムの改善・充実を図り、上進時期の変更の趣旨を活かして上進率（特にピーパー、カブスカウトの上進率）を向上させる。日本連盟・県連盟（地区）は募集ツール、プログラムの参考資料の提供など支援を図るとともに、対外広報活動を展開し、スカウト運動の認知度を高める。

3. スカウトおよび指導者の訓練施設の充実
スカウト訓練の更なる充実のため、「大和の森」高萩スカウトフィールドの整備を推進するとともに指導者訓練の新しい訓練場や常設ジャンボリー会場の確保に努力する。
4. 新しいユニフォームへの円滑な移行
23WSJへの参加者は、前年度決定された新しいユニフォームを着用して参加する。
全体的な切り替えは、平成27年9月から順次円滑な移行を図る。
旧ユニフォームとの併用期間は平成30年度までとする。
5. 日本連盟創立100周年を目指した長中期計画の策定
23WSJ開催の本年度をもって新公益法人移行後に策定された中期計画が終了するので、新たに平成34年(2022年)度日本連盟創立100周年を目指して長中期計画を策定する。

平成27年度事業計画決定までの日程

10月14日(火)	運営会議・理事会(事業方針承認)
10月18~19日(日)	県連盟コミッショナー会議(事業計画施策検討)
10月11~11月4日(火)	常設委員会開催期間(事業計画施策検討)
11月11日(火)	運営会議・政策会議
11月15~16日(日)	事務局長会議
11月30日(日)	スカウト教育推進会議
12月9日(火)	運営会議・政策会議
1月6日(火)	運営会議・政策会議
1月13日(火)	臨時理事会
1月17~18日(日)	県連盟コミッショナー会議
1月24日(土)	県連盟代表者会議
1月26~2月10日(火)	常設委員会開催期間
2月8日(日)まで、意見締め切り	(政策会議で集約)
2月10日(火)	運営会議・政策会議
2月22日(日)	スカウト教育推進会議
3月3日(火)	運営会議・政策会議
3月10日(火)	理事会(事業計画承認)、臨時評議員会(事業計画報告)

以上